

平成30年度 第2回下野市教育委員会定例会議事録

- 1 日 時 平成30年5月17日(木) 午後1時00分～午後4時20分
- 2 場 所 下野市役所3階 教育委員会室
- 3 出席委員 教 育 長 池 澤 勤
職務代理者 永 山 伸一
委 員 三 橋 明美
委 員 熊 田 裕子
委 員 石 嶋 和夫
- 4 出席職員 教育次長 坪 山 仁
教育総務課長 小谷野 雅美
教育施設整備室長 伊 澤 仁一
学校教育課長 海 老 原 忠
生涯学習文化課長 手 塚 芳子
文化財課長 山 口 耕一
スポーツ振興課長 北 條 均
教育総務課課長補佐 古 橋 栄一
教育総務課主事 岡 野 祐衣
- 5 傍 聴 人 な し
- 6 議 案
議案第3号 下野市教育委員会点検評価実施に伴う外部評価委員会委員の委嘱について
議案第4号 下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
議案第5号 下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について
議案第6号 下野市立小中学校教科用図書選定委員会への諮問について
議案第7号 南河内中学校区小中一貫教育推進協議会委員の委嘱について
議案第8号 下野市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について
議案第9号 下野市公民館運営審議会委員の委嘱について
議案第10号 下野市子どもの読書活動推進計画策定委員の委嘱について
議案第11号 下野市文化財保護審議会委員の委嘱について
議案第12号 下野市少年スポーツ指導員の委嘱について
議案第13号 下野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について
- 7 協議事項
(1) 平成30年度教育のつどいにおける講演会の講師選定について
- 8 報告事項
(1) 教育委員会後援等の承認について
(2) 寄附の受け入れについて

- (3) 平成29年度学校教育サポートセンターの事業報告について
- (4) 平成30年度就学援助費認定状況について
- (5) 下野市南河内中学校区義務教育学校整備基本計画（案）について

池澤教育長	<p>教育長挨拶及び報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4月17日に小学校6年生と中学校3年生を対象とした「全国学力学習状況調査」及び小学校4、5年生と中学校2年生を対象とした「とちぎっ子学力学習状況調査」が実施された。調査結果がまとめ次第、委員の皆様にご報告させていただく。 ・ 4月18日に国分寺西小学校との再編について国分寺小学校の保護者説明会を実施した。 ・ 4月22日に下野市議会議員選挙が行われ、22名のうち18名（うち新規8名）が当選された。 ・ 5月1日に市議会議員全員協議会において議員との顔合わせが行われた。 ・ 5月16日に臨時議会が開催され、議長に秋山幸男氏、副議長に石田洋一氏、教育福祉常任委員長に大嶋昌弘氏、教育福祉常任副委員長に中村節子氏が選任された。 ・ 4月30日にグリムの館敷地内にお菓子の家がオープンした。オープニングセレモニーには教育委員の皆様にもご参加いただいた。 ・ 5月2日に市PTA連絡協議会総会が行われた。今年度のPTA会員数は4,399名であり、会長に吉田東小学校の舘野勝氏、副会長に石橋北小学校の青柳高弘氏、国分寺東小学校の川島光博氏、南河内第二中学校の熊田裕子氏が選出された。 ・ 5月7日から8日にかけて、新任校長3名、転採校長2名、新任教頭7名の面談を行った。
池澤教育長	<p>報告内容について質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>次に、議事録署名委員の指名 熊田委員及び石嶋委員</p> <p>続いて、第1回教育委員会定例会議の議事録について確認をお願いする。</p> <p>訂正等があれば発言を求める。(特になし)</p> <p>議事録はこのとおり承認とする。</p>
池澤教育長	<p>議案に入る旨を伝える。</p> <p>議案第3号から議案第5号及び議案第7号から議案第13号については個人情報が含まれていることから、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により非公開で行いたい。各委員の意見をお伺いする。</p> <p>(全委員異議なし)</p>
池澤教育長	<p>それでは非公開で行うことに決定する。なお、議案の承認については、1件ずつ行うこととしたい。</p> <p>議案第3号「下野市教育委員会点検評価実施に伴う外部評価委員会委員の委嘱について」説明を求める。</p> <p>以下、非公開。</p>
池澤教育長	<p>このとおり決定してよろしいか。(全委員承認)</p>

池澤教育長	<p>議案第3号は原案どおり決定する。 続いて、議案第4号「下野市立国分寺学校給食センター運営委員会委員の委嘱について」説明を求める。</p> <p>以下、非公開。</p> <p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第4号は原案どおり決定する。 続いて議案第5号「下野市立小中学校教科用図書選定委員会委員の委嘱について」説明を求める。</p> <p>以下、非公開。</p>
池澤教育長	<p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第5号は原案どおり決定する。 ここで非公開を解く。 続いて、議案第6号「下野市立小中学校教科用図書選定委員会への諮問について」説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>下野市立小中学校教科用図書選定委員会への諮問書における諮問趣旨を読み上げる。</p>
池澤教育長	<p>質疑等はあるか。</p>
熊田委員	<p>今回小学校教科用図書を選定するが、4年経たずに学習指導要領が変更になった場合は、再び選定することになるのか。</p>
海老原学校教育課長	<p>教科用図書採択の年ではあるが、教科書会社も旧学習指導要領に対応した新たな教科書は作っていない。そのため、来年度も新たな教科書ではなく、4年前の教科書と全く同じものを使用することになる。来年度に新学習指導要領に対応した教科書を選定することになる。</p>
池澤教育長	<p>他に質疑等はあるか。（特になし） このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第6号は原案どおり決定する。 ここから再び非公開とする。 続いて議案第7号「南河内中学校区小中一貫教育推進協議会委員の委嘱について」説明を求める。</p> <p>以下、非公開。</p>
池澤教育長	<p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第7号は原案どおり決定する。 続いて議案第8号「下野市学校給食食物アレルギー対応委員会委員の委嘱について」説明を求める。</p>

池澤教育長	<p>以下、非公開。</p> <p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第8号は原案どおり決定する。 続いて議案第9号「下野市公民館運営審議会委員の委嘱について」説明を 求める。</p>
池澤教育長	<p>以下、非公開。</p> <p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第9号は原案どおり決定する。 続いて議案第10号「下野市子どもの読書活動推進計画策定委員の委嘱に ついて」説明を求める。</p>
池澤教育長	<p>以下、非公開。</p> <p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第10号は原案どおり決定する。 続いて議案第11号「下野市文化財保護審議会委員の委嘱について」説明 を求める。</p>
池澤教育長	<p>以下、非公開。</p> <p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第11号は原案どおり決定する。 続いて議案第12号「下野市少年スポーツ指導員の委嘱について」説明を 求める。</p>
池澤教育長	<p>以下、非公開。</p> <p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第12号は原案どおり決定する。 続いて議案第13号「下野市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」説 明を求める。</p>
池澤教育長	<p>以下、非公開。</p> <p>このとおり決定してよろしいか。（全委員承認） 議案第13号は原案どおり決定する。</p>

小谷野教育総務課長	<p>次に、協議事項に移ることを告げる。</p> <p>(1) 平成30年度教育のつどいにおける講演会の講師選定について説明を求める。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>平成30年度教育のつどいは平成31年1月26日に国分寺公民館で開催を予定している。永山委員より講演会における講師(甲野善紀氏)をご紹介いただいたので、プロフィール等について説明させていただく。</p>
永山委員 池澤教育長	<p>講師に内諾をいただいた経緯やプロフィール等について補足説明を行う。</p> <p>協議の前提として、教育委員会として甲野善紀氏を講師としてお招きするという点でよろしいか。(全委員異議なし)</p>
池澤教育長	<p>それでは、どのようなテーマで講話をいただくか、委員の皆さまから意見があればお願いしたい。</p>
熊田委員	<p>幅広い年齢層を網羅する内容となると大変難しいと思うが、表彰式が終わった後に児童生徒に残って聞いてもらうためには、介護関係の話より既成概念にとらわれないスポーツ講話の方が良いのではないかと思います。</p>
石嶋委員	<p>個人情報制限もあると思うが、「こういうスポーツ選手に対して、このような指導やアドバイスを行った」という具体例を交えながら話していただけると、理解しやすいのではないかと。</p>
池澤教育長	<p>演題となるキャッチコピーから考えるのも大切だと思う。資料中の表現を借りて「もともとあったのに気づけなかったチカラ」という演題で、「限りない可能性に向かって」というサブタイトルを付けてみたらどうか。</p>
永山委員	<p>教育長の提案を踏まえ、もともと持っているのに気づけなかったチカラを発揮するために、教育者はどういう教育をしていくべきか、子どもたちはどんな風に学んでいくべきか、大人たちはどんな風に生きていくべきかという幾つかの問いかけをした上で、先生にテーマを選んでいただく方が、むしろよろしいのではないかと。一度で決めるのではなく、何度か先生とやりとりをして、その中で決めていければと思う。</p>
池澤教育長	<p>それでは、ただ今のご意見に沿って、先生にアプローチさせていただき、経過については別途報告させていただきたい。</p>
永山委員	<p>甲野先生には依頼文書を事務局から送付すると申し上げているので、本日の協議の結果として、正式な通知を出していただきたい。</p>
池澤教育長	<p>次に報告事項に移ることを告げる。</p> <p>(1) 教育委員会後援等の承認について説明を求める。</p> <p>【説明要旨】</p>
小谷野教育総務課長	<p>「下野市教育委員会後援等承認一覧」に基づき、5月現在で4件の承認をした旨の報告を行う。4件のうち3件は後援、1件は共催である。</p>
池澤教育長	<p>質疑等はあるか。</p>
石嶋委員	<p>承認を行った事業の入場料・参加料は無料なのか。</p>
小谷野教育総務課長	<p>第15回栃木県人権研究集会については、資料代として参加料が1,000円、第34回わんぱく相撲小山場所については参加料無料、自治医科大学</p>

池澤教育長	<p>公開講座についても入場料無料である。第18回明治大学マンドリン倶楽部コンサートについては、入場料は2,700円である。</p> <p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて、(2)寄附の受け入れについて説明を求める。</p> <p>【説明要旨】</p> <p>南河内サッカースポーツ少年団から、桜の苗木4本(8,000円相当)の寄附があった旨の報告を行う。</p>
池澤教育長	<p>質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて(3)平成29年度学校教育サポートセンターの事業報告について説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>「平成29年度全期 相談ケース数および相談総数」一覧に基づき、相談件数や相談内容の推移等について説明を行う。また、「適応指導教室運営状況報告書」に基づき適応指導教室(スマイル教室)運営状況について報告を行う。</p>
池澤教育長	<p>質疑等はあるか。</p>
永山委員	<p>関係機関との連携の欄に「自治医大 サポセ」とあるが、これはどういう意味なのか。</p>
海老原学校教育課長	<p>これは、自治医科大学子ども医療センターの相談機関とサポートセンターの両方を指している。</p>
永山委員	<p>サポートセンターに通っている中学生の半分が3年生だが、相談件数に関しては3年生が特に多いわけではない。この背景にはどのような理由が考えられるのか。</p>
海老原学校教育課長	<p>サポートセンターに籍を置いて通うことで、出席日数を補うことができることが大きいと考えている。また、進路に関する情報等がサポートセンターでも得られることや、担任の先生が定期的にサポートセンターを訪れていることなども理由として挙げられる。</p>
石嶋委員	<p>サポートセンターに通う子どもの進路先はどこが多いのか。</p>
海老原学校教育課長	<p>定時制や通信制の高等学校、専門学校に進学している生徒が多い。</p>
石嶋委員	<p>中学3年生が進学する前にサポートセンターに通うことは訓練になるが、一方で中学1、2年生や小学生が利用しづらくなる懸念もある。</p>
池澤教育長	<p>他に質疑等はあるか。(特になし)</p> <p>続いて(4)平成30年度就学援助費認定状況について説明を求める。</p>
海老原学校教育課長	<p>【説明要旨】</p> <p>「平成30年度要保護及び準要保護児童生徒認定者一覧」に基づき、5月1日現在での援助人数及び過去5年間の認定者数の推移等について説明を行う。また、平成29年度から援助人数が増加しているが、これは入学準備金がこれまでの約2倍になったことに起因する旨の報告を行う。</p>
池澤教育長	<p>質疑等はあるか。</p>
熊田委員	<p>説明の中に出てきた5月21日というのは何の日付なのか。</p>

海老原学校教育課長 石嶋委員	認定通知の発送を予定している。 援助人数が増えているということで、市の財政的には厳しいかもしれないが、子どもたちには何の責任もないので配慮いただけることは本当にありがたいことだと思う。
池澤教育長	他に質疑等はあるか。（特になし） 続いて（５）下野市南河内中学校区義務教育学校整備基本計画（案）について説明を求める。
海老原学校教育課長	【説明要旨】 「下野市南河内中学校区義務教育学校整備基本計画（案）」に基づき、基本構想における整備方針を教育活動と施設整備に分けて説明を行う。
池澤教育長	検討委員会の会長でもある石嶋委員から補足することがあればお願いしたい。
石嶋委員	２９Ｐに開校予定年度の想定教員数を載せているが、今後、栃木県では何人の加配をつけていただけるのかが目下の関心事である。３つの学校が閉校となるわけなので、人数はもっと増えてもいいのではないかと考えている。
永山委員	５Ｐに「習熟度別学習の充実」を謳っているが、ここに記載されている内容を実現するためには、石嶋委員が指摘している教職員の適正な人数が確保されなければ不可能だと思われる。学習の充実を図るということ、想定教員数との整合性をどのように捉えているのか。
海老原学校教育課長	１つのクラスを複数の習熟度別クラスに分けるのではなく、同じ学年で特定教科の時間割をそろえることで１つの学年を複数の習熟度別クラスに分ける形をとることができ、開校予定年度の想定教員数で対応することは可能であると考えている。
永山委員	習熟度別学習の方法を具体的に示した上で開校に至るのか、それとも開校後は先生方に任せてしまうのか、現段階で考えていることがあれば伺いたい。
石嶋委員	基本計画の段階であり縛りを強くしてしまうと、実態に応じることが難しくなるため、その時の状況に応じて対応できるような表現に留めている。
永山委員	開校してから運営ができないという事態だけは避けなければならないので、教員の配置等については、事務局としてもよく詰めていただきたい。
熊田委員	６Ｐの「発信型英語の推進」の中に、３つの柱が取り上げられているが、「英語教育」をもっと前面に打ち出しても良いのではないか。
永山委員	下野市として、英語教育に力を入れていくというアピール度を考えると、これを単独の項目として表現した方が周知度は一段と増すのではないか。
三橋委員	２４Ｐに「低学年用プールの設置を検討します。」とあり、３９Ｐの図面にも低学年用プールと記載されているが、これは作るという理解でよろしいか。
海老原学校教育課長	この表現はあくまでも（案）であり、協議会として作るかどうかを判断したものではないため、最終的には総合教育会議の中で決めていくべきものだと考えている。
永山委員	１３Ｐに「ブラインドタッチ」という文言があるが、最近では「タッチメ

熊田委員	<p>ソッド」という言葉が使われているようなので、訂正をお願いしたい。</p> <p>また、20Pに共通・教養空間について述べられているが、前に中学生議会において要望のあった勉強室の発想がここにあっても良いのではないかと思う。</p>
池澤教育長	<p>17Pに「地域との連携及び防災拠点としての防災機能の整備」について述べられており、関連する写真が掲載されている。そのキャプションの中に地域という言葉がないので、項目との齟齬が生じていると思う。</p> <p>ここは、「地域の人と児童生徒とのワークショップ」という表現に訂正した方が良い。</p> <p>他に質疑等はあるか。（特になし）</p> <p>かなり長時間になってしまったが、これまで協議してきた内容を踏まえ、教育委員会としての共通認識を持って明日の総合教育会議に臨みたい。</p>
	<p>次回の教育委員会は、6月14日（木）午後1時30分からの予定とする。 本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後4時20分閉会。</p>